

アプリの使い方 ～便利な活用方法～



① 防災アプリ

② 天気アプリ



①

Ver. 2.0 (令和4年10月)

みなさん、こんにちは。

今日は、アプリの便利な活用方法について、ご紹介していきます。

今日ご紹介するのは、「防災アプリ」と「天気アプリ」です。

1 防災アプリでわかること

①防災用品



②避難場所



③災害時の対応



④応急処置の方法



⑤災害マップ



⑥災害用伝言板



2

まず、防災アプリについてご紹介していきます。

防災アプリはいくつか種類がありますが、できることはアプリによって異なりますので、必要な機能が入ったアプリを探してみましょう。

主な機能をご紹介します。

①として、防災用品の確認ができます。

どんな防災用品を準備したらよいのか？
今ある防災用品で足りるのか？
という不安がある方もいらっしゃると思います。

そんなときに、防災アプリを使って確認をすることができます。

万一のときに備えて是非防災用品の準備をしておきましょう。

②として、避難場所の確認ができます。

実は災害の種類によって避難場所は異なります。

しかし水害のときはこの場所、地震の時はこの場所、というように覚えておくのは困難ですね。

いざというときに、防災アプリで避難場所の検索がすぐにできるので、安心です。

③として、災害時の対応方法も防災アプリで確認ができます。

災害が起きたときにどんな行動をとるべきなのか、事前に学ぶことができます。

④として、応急処置の方法も調べられます。

事前に学習することもできますし、自分以外に怪我をした人がいたら、応急処置の方法を調べて手当することもできます。

⑤として、災害マップの確認もできます。

今どんな警報が出ているのか、警戒レベルはいくつなのか等、リアルタイムで確認することができます。

避難すべきかどうかの判断材料にできます。

⑥の災害用伝言板も、防災アプリから利用できるものがあります。

災害用伝言版とは、家族や知人に自分の安否を知らせる、または家族や知人の安否確認ができるサービスです。

また、アプリ内で発信ができるので、慌てていて電話番号を忘れしまった場合でも利用できます。

万一の場合に備えて是非利用してみてください。

2 天気アプリでわかること

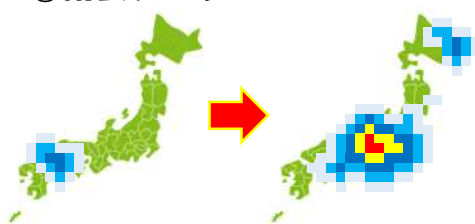
①天気予報



②熱中症情報/対策



③雨雲レーダー



数時間先までの降水量が分かる

④各種通知機能



3

次に天気アプリについてご紹介していきます。

天気アプリもいくつか種類がありますが、調べられることはアプリによって異なりますので、必要な機能が入ったアプリを探してみましよう。

主な機能をご紹介します。

①として、天気予報の確認ができます。

地域設定をしておけばアプリを起動するだけで住んでいる地域のその日の天気や気温、湿度等がわかります。

またスマートフォンにはGPSの機能が備わっていますので、今自分がいる場所の天気も簡単に調べることができます。

②として、熱中症情報についても確認ができます。
予め対策をしてお出かけすることができます。

③として、雨雲レーダも大変便利な機能です。

雲の動きを予測してくれるので、雨雲がある場合は洗濯物を早めに
取り込む、といった判断もできそうですね。

④として、各種通知機能があります。

設定をしておくで、いろいろな情報をスマートフォンが知らせてくれま
す。

例えば、今いる場所に5分後に雨が降ることなどを知らせてくれます。

雨が降る前に傘を購入する、といった準備もできそうですね。

このように天気アプリは様々な情報確認ができるので、生活の中で
とても役立ちます。

アプリもいろいろな種類がありますので、ご自身の使いやすいアプリ
を探してみてください。

アプリの便利な活用方法の講座は以上です。